

月刊



2023
1
No. 370

発行所 株式会社藤原書店◎
〒100-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町五二三
電話 〇三・五二七二・〇三〇〇（代）
FAX 〇三・五二七二・〇四五〇
◎本冊子表示の価格は消費税込みの価格です。

編集兼発行人 藤原良雄
額価 100円

ウクライナ侵攻を続けるプーチンのロシア。「ロシア」とは何か？

未だ知られざるロシアの実態

東洋史家／モンゴル学者 宮脇淳子



宮脇淳子氏（1952-）

「偉大なるロシアの復活」を標榜してウクライナ侵攻を続けるプーチンのロシア。「偉大なるロシア」とは一体いつの、どのようなロシアなのか？ ロシア人とはどういう人たちなのか？ ロシアは果たしてヨーロッパなのか？ 歴史学者の宮脇淳子氏から寄稿いただいた。さらに詳しく知りたい方は、近刊予定のホルコフスキー『ロシアの20世紀』を参照して欲しい。

編集部

● 一月号 目次 ●

ウクライナ侵攻から「ロシア」を考える

未だ知られざるロシアの実態 宮脇淳子 1

関東大震災百周年記念出版

震災復興はどう引き継がれたか 北原糸子 6

アイヌの探究と苦闘を体験

アイヌの時空を旅する 小坂洋右 10

「高校生のための『歴史総合』入門」第二弾

欧米の「近代」に学ぶ 浅海伸夫 14

民衆の声を聞き取った第一級資料

マルクスが『共産党宣言』を出版した一八四八年とはどういう時代か？ Dスエールン 18

〈新連載〉パリの街角から

戦時下のパリ 山口昌子 22

〈連載〉「地域医療百年」から医療を考える22 取り合
わぜの医療方波見康雄 23 歴史から中国を顧る37
子ベツと日本の古い関係 宮脇淳子 24 今、日本
は45「原発の犠牲者たち」鎌田慧 25 花満径82「天皇
即神」の思想 中西進 26

12ヶ月刊案内／読者の声・書評日誌／刊行案内・書
店様へ／告知 出版随想

域すべてをアジアと呼ぶようになった。

大陸におけるヨーロッパとアジアの境界線は、黒海北岸からカフカス山脈の真ん中を通り、ヴォルガ河左岸からウクライナ山脈を北極海まで縦断する。つまり、キリスト教徒であるロシア人が進出したところがヨーロッパになったわけだ。ヴォルガ河左岸はエカテリーナ二世が招いたドイツ人が入植した土地なので、スラヴ人であるロシア人の入植地よりさらに由緒正しいヨーロッパと見なされることになった。

カフカス山脈の南側はイスラム教徒の住地で、ウラル山脈の東側のシベリアは、もともとモンゴル系遊牧民とツングース系狩猟民の住地だった。土地はアジアに分類されるのに、ロシア人が支配階級だから、ロシアはヨーロッパなのである。一方、イスラム教国家であるトルコ共和

国はヨーロッパ連合(EU)には加盟できないままである。

ロシア人って誰？ ルーシからロシアへ

さて、最初に述べた「ロシア人」を指すことば「ルーシキ」の語源は、いまのウクライナの首都キエフ(ウクライナ語ではキーウ)を中心に九世紀に誕生した「ルーシ」である。

ロシア語で書かれた最初の歴史『ロシア原初年代記』は、「ルーシ」をスカンディナヴィアのノルマン人だと言っている。北からルーシがやってきて、まずノブゴロドなどの北ロシアに都を定め、一派がさらに南下してキエフに拠った、これがロシアの建国なのである。

ロシア人の学者は面白くないので、キエフ大公国をつくったのはスラヴ人部族

で、スカンディナヴィア人はほとんど貢献していないと主張するが、それは歴史の歪曲である。

このあと長い間、ルーシの諸公は町に住み、各地を巡回して税金を集めるだけで、町の外に住む東スラヴ人の人口も把握しなかった。十三世紀にモンゴル軍が侵入したとき、ルーシ諸公にはまとまりがなく、一二四〇年にキエフは征服され蹂躪された。その後二百年以上、ルーシは「黄金のオルダ」と呼ばれるチンギス・ハーンの長子一族の支配下にあった。

ルーシ諸公のなかで、モンゴルとの関係をもっとうまく利用したのがモスクワ大公で、モンゴルの徴税官となって勢力をのばし、イヴァン三世が「全ルーシの君主」を名のる。その孫のイヴァン四世(雷帝)が十六世紀後半にツァーリとなった。これが異民族をも支配下に入れ

る「ロシア帝国」の始まりである。

しかし、このときのロシアの領土はまだ小さく、草原に住むロシア正教徒になったウクライナ・コサックの助けを借りて、モスクワがキエフを併合することができたのは、十七世紀半ばである。

プーチンは「偉大なロシアを取り返す」と言うけれども、一体いつの時代に帰りたいのか、何百年前か、と問わなければならない。ピョートル大帝の時代でさえ、いまのロシア連邦の版図はなかった。「歴史的大義」などという言葉はまやかしである。

最後に、モンゴル学者としてどうしても伝えておきたいことがある。

昨年十一月、ローマ教皇が「ウクライナに侵攻しているロシア軍で、もつとも残虐なのは非キリスト教徒のチェチェン人やブリヤート人ら少数民族の部隊であ

る」と発言した。

その後、ロシアの抗議を受けてバチカン(ローマ教皇)が謝罪したそうだが、相変わらず、ヨーロッパあるいはキリスト教徒が善であり正義で、アジアは格下であるという抜きがたい偏見が見られる。

ブリヤート人はバイカル湖の周辺に住む少数民族で、かつてはブリヤート・モンゴルと言った。スターリンがモンゴルと呼ぶことを禁止したが、南のモンゴル国民とは同族で、大半はチベット仏教徒。高等教育への進学率は、ロシア連邦内ではユダヤ人に次いで二位だと、私の友人の社会言語学者が言っていた。ロシアの部分動員令の徴兵対象が、シベリアやカフカス地方の少数民族に偏ついていると聞いたが、ウクライナ人だけでなく、動員されたロシア兵にも私は心が痛む。(みやわき・じゅんこ/公益財団法人東洋文庫研究員)

岡田英弘著作集 全8巻

四六上製 各巻四三〜六九六頁

- 1 歴史とは何か [4刷] 四一八〇円
- 2 世界史とは何か [3刷] 五〇六〇円
- 3 日本とは何か [3刷] 五二八〇円
- 4 シナ(チャイナ)とは何か [3刷] 五三九〇円
- 5 現代中国の見方 [2刷] 五三九〇円
- 6 東アジア史の実像 [2刷] 六〇五〇円
- 7 歴史家のまなざし [7刷] 八〇〇円
- 8 世界的ユーラシア研究の六十年 [5刷] 九六八〇円

好評既刊 漢字とは何か

〔日本とモンゴルから見る〕
岡田英弘 宮脇淳子 編・序
特別寄稿 樋口康一
三五一〇円

3月刊行予定 ロシアの20世紀

〔百年の旅〕
マイケル・ホダルコフスキー 山内智恵子訳